



15年間の案山子づくり 5年生に支えられ感謝！！



台風10号を大変心配しましたが、お陰様で今回はあまり大きな被害もなくほっとしているものの最近では想像も付かない様な状況が起きる時代が来ている様に思えてなりません。そんな中で9月9日(水)、田んぼに植えたもち米の周りに校長先生・教頭先生も参加して5年生と一緒に案山子を立てました。

昨年までは、とこなみ学園（百次創年クラブ・永利長寿会・日笠山むつみ会）の支援をもらいながらの保護者・5年生との和気あいあいとした案山子作りでした。

この3世代交流の場を作ってくれたのが5年生でした。

昔は苗の病気・害虫の薬もなく自分で四苦八苦しなから思考し対応していましたが、無農薬を目指すものの今の時代はなかなか難しく、つつい農薬に頼りいつの間にか農薬を使う事にあまり抵抗が無くなっていったように思います。

改めて思えば特に現地周辺への気配りもなく時には早朝からの草刈り、夕方も遅くまでの草刈り、また農薬の散布も稲の成長に合わせて実施し、何もかも自分中心に物事を進めて来ただけに深く反省しています。

今回、2回ほど農薬の散布を自分で行ないましたが田んぼの中を歩くのは困難で今後の事を考えると5年生の皆さんには本当に申し訳ないのですが「5年生の田んぼ」での米作りは今年で終わりにさせていただきたいと思っています。

10月、最後の稲刈り脱穀がまだ残っていますのでよろしくお願ひします。

この15年間、現地周辺の皆さんを始め地域のたくさんの皆さんのご支援をいただき本当に有難うございました。

毎年、一生懸命頑張ってくれた5年生の皆さん、保護者の皆さん案山子づくりに参加しいただき感謝申し上げます。 管理担当 井上 仁



「5年生のみんなで植えた大事なお米を見守ってますからうねえ〜」



「ズボンが落ちてますよ！」



案山子のポーズで「はいチーズ！」



米作りの大変さを学ぶ食育体験でした！

食の大切さや米ができるまでの大変な工程の一部を少しでも体感できる米作り体験は、子どもにはもちろん、大人にとっても有意義なものだったと思います。この「もち米作り体験」では、秋に「稲刈り」年始には「もちつき」をする予定です。

大凧作りに挑戦！

8月に入り川内青年会議所から大凧作成の問い合わせをいただき、第1・第2の指導員と話し合い、それぞれ2機の大凧作りに挑戦することになりました。2m×2mの大凧にそれぞれテーマを決め、お盆過ぎから児童たちと取り組みました。テーマはそれぞれ子どもの手形と第1児童クラブは(自分自身の肖像画)・第2児童クラブは(あつまれ動物たち)で、子どもたちはもちろん指導員も一生懸命になり絵の具で手を汚しながら9月前半まで頑張りました。大凧は11月3日にユーチューブで配信される予定です。



永利城跡発掘調査終了！

調査に至る経緯

永利城跡のすぐ北側を市道馬場・掛川線が通っているが、この部分の市道が急カーブになっており、永利城側から市道への土砂やタケ等の崩落があり、この部分の整備の必要性が生じた。これに伴い、薩摩川内市教育委員会教育部文化課と薩摩川内市建設部建設整備課で永利城の取り扱いについて協議を行った。

整備にあたっては、削平が予定される永利城跡北端部分約1,000㎡の本発掘調査を平成31年2～3月に実施することと、これに先立ち昭和62～63年度に土砂採取に伴い現在更地になっている部分周辺調査を平成30年7月に実施することとなった。

当初、本発掘調査は平成30年度中の終了を予定していたが、諸般の理由からその終了は令和元年7月となり、その後整理作業を行った。

「市道馬場・掛川線整備事業に伴う埋蔵物文化財発掘調査報告書」より

発掘調査には、永利から**車田 武司**さん・**峯元 敏郎**さん・**寺地 関哉**さん・**原口 道治**さんが参加されました。「市道馬場・掛川線整備事業に伴う埋蔵物文化財発掘調査報告書」はコミュニティセンターで閲覧可能です。
報告書には永利城の概要・遺跡の出土遺物の図・写真も掲載されています。

